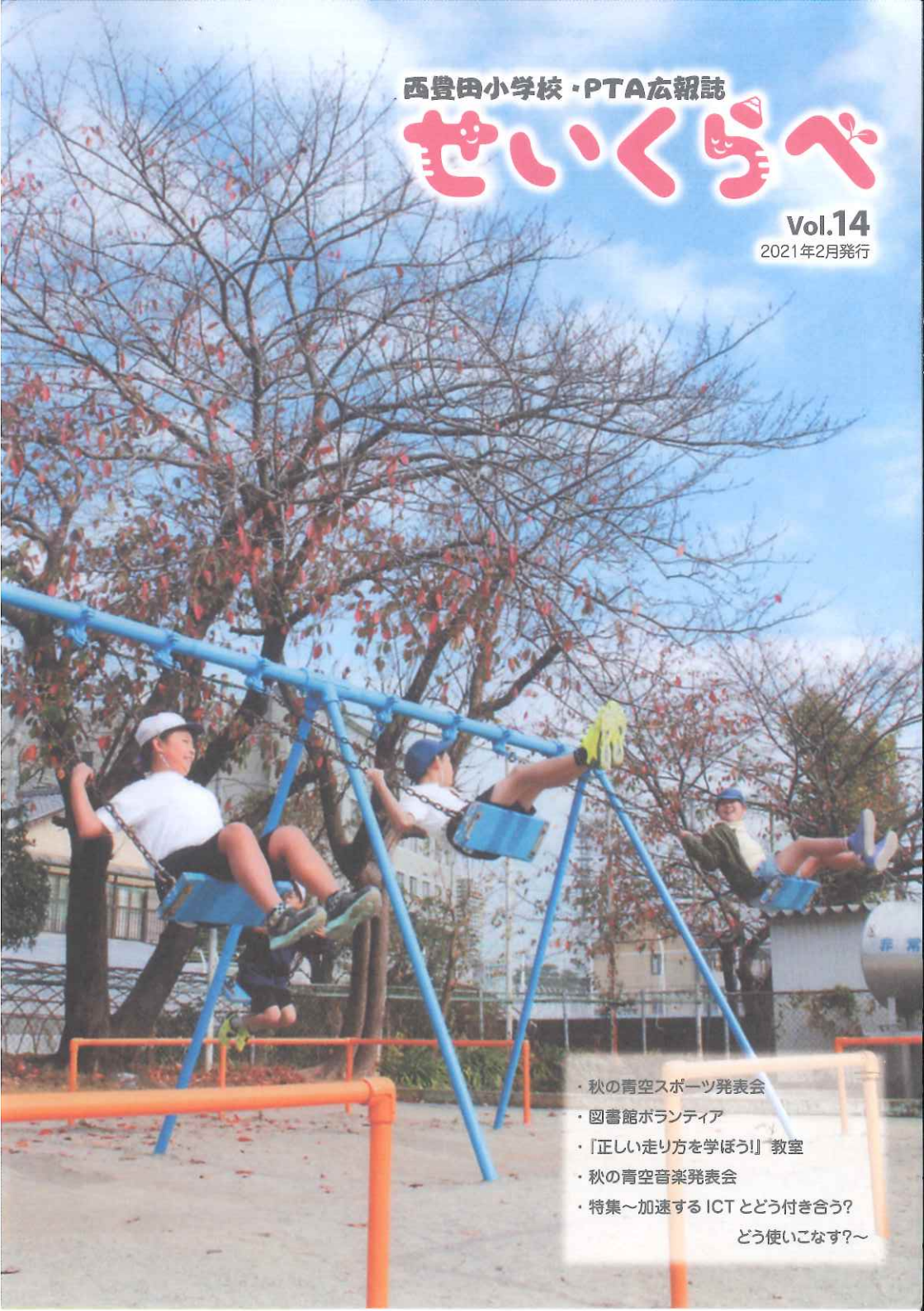


西豊田小学校・PTA広報誌

せいくらべ

Vol.14

2021年2月発行



- ・ 秋の青空スポーツ発表会
- ・ 図書館ボランティア
- ・ 「正しい走り方を学ぼう!」教室
- ・ 秋の青空音楽発表会
- ・ 特集～加速するICTとどう付き合う?
どう使いこなす?～

10

29
thu.1年生「なげて、おどって
太いそがし」

開会式

玉入れ

入れー!!

かん!おるぞー!!

入るかな?

おどり

チエツコリの音楽にのって踊ったよ

10

27
tue.3年生「つなごう みんなの
パワフルパワー」

個人走 ハードル

フラフープ

ボール運びレース

落ちそう

ゴールをめざして!!

にしとよ

あき
秋の
あおぞら
青空スポーツ発表会

2020.10.26 ~ 11.5

新型コロナウイルス感染防止のため中止された運動会の代わりに、秋のスポーツ発表会が行われました。発表は10月26日から2週間の間に、学年ごとに行われ、各家庭から保護者1名も応援に訪れました。密にならないような演技・競技を各学年の先生が考え、クラスや学年で協力して学年ごとの発表を行いました。

真っ青な秋空の下、運動場に子どもたちの笑顔や真剣な表情が見られ、歓声が沸き起こりました。

10

28
wed.

2年生「とんでまわって GO!!」

台をこぎ
越えて...

コーンを回り...

フラフープ跳び

リングをつなげ!!

やっため!
1番だね!!

11

5
thu.

5年生「団結リレー」

長縄

入れ!

急げー!!

玉入れ

おみこし

クラス全員の心をひとつに!

クラス全員で輪くぐり

バランスに気を付けて...

10

26
mon.

6年生

「感動」

~157人の友よ~

開会式

BGM
♪「友よ」ケツメイシ
♪「ありがとうの輪」絢香

1人技

→ 行進

→ フラッグ

小学校最後に
精一杯の演技を!

図書館ボランティア って何しているの？

～活動紹介～

毎月第2水・木・金曜日
10:00～12:00 (ご都合の良い日を選べます)
出欠席は自由です

どこで？ 東校舎4階図書館・総合学習室

どんな事をしているの？

新しい本の貸し出し準備

本を丈夫にするため、
透明なフィルムを貼るよ



本の大きさに合わせてフィルムをカットします



空気が
入らないように
気をつけて...

本に貼ります
やり直しができないから慎重に...

完成

これなら
よこれ
にいい



他にも...

- ・掲示物作り
 - ・本棚の整理
 - ・高い所にある窓のそうじ
 - ・カーテン洗い
 - ・扇風機のそうじ
- なども行っています

本校では、保護者の方による『図書館ボランティア』が活動しています。
子どもたちが楽しみに通う図書館をより使いやすくするために、月に数回、様々な活動を行っています。



毎年、新年度の始めに募集用紙を配布しています。途中参加も可能です。ご応募お待ちしております。

しおり作り

本をたくさん借りた子どもたちに配るしおりを作っているよ

心をこめて...



チラシや本のカバーを切って作ります



喜んでくれるかな...



本の修繕

壊れてしまった本を
また貸し出せるように直すよ

本は大切に読んでね

ひどい！

壊れてしまった本たち...

本が
がわいそうにね！

背表紙のやぶれ



水ぬれ



やぶれ



変色、劣化を防ぐため、専用のテープを使います。
ご家庭のセロハンテープで修理しないでください！

バラバラになってしまったページを直すよ



サイズに合わせて
テープをカット



きれいに整えて
貼ります



完成

※読み聞かせボランティアは、新型コロナウイルス感染防止のため、本年度は活動していません

研修委員会初企画

現役陸上選手に 正しい走り方を学ぼう！教室

2020.11.7



低学年の部



高学年の部



一般社団法人
Grow Sports
おがわ たくま
小川 拓夢

〈自己ベスト〉
100m 10.47秒
200m 20.89秒
〈実績〉
・静岡国際陸上大会 200m 第5位
・U-22台湾国際大会 200m 東海代表
・全日本学生選手権 200m 第8位
・静岡県選手権 100m、200m 2年連続2冠

11月7日(土)、西豊田小学校のグラウンドにて、研修委員会企画による『現役陸上選手に正しい走り方を学ぼう！』教室が行われました。講師に現役アスリートの小川拓夢さんをお招きして、正しい走り方のコツを、一緒に体を動かしながら教えていただきました。

1 50m5秒!!のスピードを間近で体感!

校長先生と競争!!

羨田先生も走る!!



2 合図でスタート!すぐ整列!



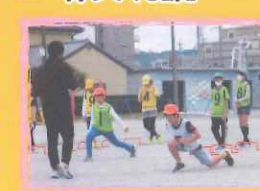
3 腕をしっかり振り上げて



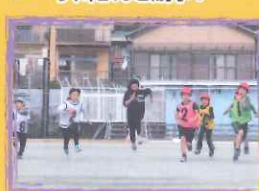
4 ハードルを使ってももを上げる練習



5 足を前へ持ってくる動き



6 最後は皆で小川さんと競争!



●講師 小川拓夢さんより
西豊田小学校の皆さん
今回はたくさんの方にご応募いただき、本当は全員に走り方をお伝えしたかったのですがコロナの影響で叶わず、私自身もとても残念です。
今回参加できなかった方々はぜひ参加した人にご案内をいただくか聞いてみてください!今回参加した人は、参加できなかった方々に教えてあげてください!
最後に、今回走り方をお伝えさせていただき、皆さんの笑顔を見て僕自身がパワーを頂きました。皆さんの中にある夢や目標に向かってこれからも頑張ってください!
私も東京オリンピックに向けて頑張ります!
本当にありがとうございました!

●研修委員会委員長より
今回の走り方教室は、子どもたちが参加できて体を動かすような研修をやりたいと企画しました。たくさんのご応募をいただきありがとうございます。
当日は、楽しそうに走る子ども達や講師のお話を真剣に聞く姿を見て開催できた喜びを感じました。今後も皆さんに興味を持っていただけるような研修を企画していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。
田中 真実

講習会の始めと終わりでは、子どもたちの表情と体の動きが全く違いました。意識して一つ一つの行動をとる事の大切さを学びました。
小川さん、貴重な体験をありがとうございました。

秋の青空音楽発表会

新型コロナウイルス感染防止のため、毎月行っている学年ごとの音楽発表会も本年度は中止となってしまいました。そこで音楽部の先生方が、来年いよいよ高学年の仲間入りをする4年生に音楽の楽しさを伝えたいと発表の場を企画し、5年生と6年生が合唱を発表しました。ステージは運動場!少し肌寒く、澄んだ朝の空気に子どもたちの歌声が響き、とても清々しい気持ちになりました。発表が終わると、運動場や校舎の窓からたくさんの拍手が送られていました。



11/18 5年生
『Believe』



11/11 6年生
『Can do ～君が輝くとき～』

「スマホ・携帯電話・ゲーム機等の使用状況アンケート」

各家庭の実態調査のため西豊田小と豊田中が合同アンケートを実施（2020年10月）

使用目的



平日の使用時間



休日の使用時間



※グラフは西豊田小・豊田中による「スマホ・携帯電話・ゲーム機等の使用状況アンケート」のうち「スマホ・携帯電話以外の機器を使っている人」のデータを抜粋

ゲーム機を含む情報端末を使っている児童が95%を占め、ゲームとYouTubeの利用が最も多いことが分かりました。全児童の5%以下と少数ながらも、端末利用に関連して「仲間外れにされた」「悪口を言われた」「支払いで多額の請求があった」といったトラブルも起きています。

子どもがゲームやYouTubeなどの動画サイトにはまり、「端末を長時間使い続けてしまう」「やめさせるのが難しい」と悩む家庭もあります。



そこで西豊田小は2020年11月から、毎月10日を「NOメディアデー」と決めました。月に1日は普段使っている端末から離れて、家族と会話する時間や学習、読書にあてる時間を増やそうという取り組みです。

※12月からは豊田中と一緒に実施しています。同居するお兄さん・お姉さんも一緒に頑張れそうですね！

学校でいう「メディア」とは

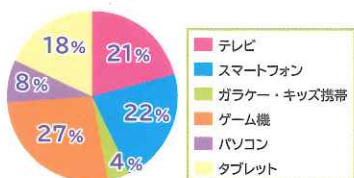
新聞、雑誌などを除く電子機器のことをさしています。

(例) テレビ、携帯電話、ゲーム機、パソコン、タブレット

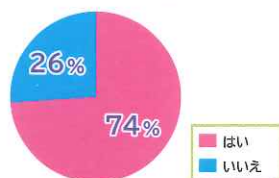
PTAアンケートご協力ありがとうございました！

第1回 NOメディアデー実施 保護者アンケート結果

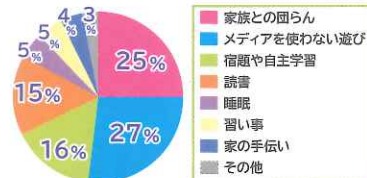
家庭で対象となるメディアは？



11月10日は実行しましたか？



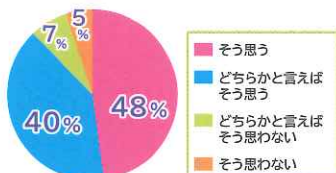
実行した時間は何をして過ごした？



【保護者からの感想・意見・学校への要望】

- 親が言っても時間を守らなかったが、学校で取り組むことで子どもが素直に受け入れることが出来た。
- ゲームをしないことで会話が増えて有意義な時間を過ごすことが出来た。
- 親が子どもの相手を出来ないから、ゲームや動画を見せてしまう。自分でも矛盾していると思うがどうしたらいいのかわからない。
- メディアを活用する事が日々のストレス解消になっているため、完全に排除するのは難しい。禁止することでイライラが増えて悪くなった。
- ネットの利便性、危険性の両方を教育として取り上げてくれるとありがたい。 など

意義のある取り組みだと思いますか？



※11月11日～14日に実施した PTA アンケート調査の中から紙面の都合上 一部抜粋した結果になります。
※回答数 710件

子どもを取り巻く ICT は急速に発展しています。「NOメディアデー」の保護者アンケートでは、子どもとインターネットの付き合い方を懸念する声が多く寄せられました。仕事で ICT をフル活用し、教育にも携わっている内田さん、山本さんのお2人に、アドバイスをいただきました！



ルール守る習慣不可欠／親子の対話で取捨選択を

プロフィール

駿河区で ICT を活用した教室を経営、本業はプログラマー。

内田さんが示す前提

リアル⇄バーチャルではない。バーチャルとは、実体を伴わないリアル（現実）。電話やSNSも含まれる。親世代にはバーチャルへの抵抗感が強い人が多いが、今や学びだけでなくビジネスにも欠かせない手段。



内田 竜太 さん

プロフィール

駿河区の山で学びの場を提供する認定NPO 法人理事長。

山本さんが示す前提

教育の最終目標はクリエイティビティー（創造性、新しい価値を生み出す力）。大人の価値観を一方的に子どもに押しつけることは、アクティブラーニング（主体的な学び）に逆行していることに気づいて。



山本 由加 さん

保護者の心配その1 「子どもがオンラインの世界にのめり込む」

（山本）小説や漫画と比べれば、オンラインゲームは中毒性が強く、ズブズブとはまってしまう側面はある。ゲームやネットが良いか悪いかではなく、「お父さんやお母さんはこう考える。なぜなら…」という親子の対話が肝心ではないか。

（内田）使用については、親子でルールを決めることが不可欠。1歳から iPad を使っている小学3年の娘は、パソコンで3Dゲームを自作して遊んでいる。宿題などのやるべきことをやらずに使えば、1週間使わせない。物事の優先順位を徹底させている。ただ、一定の年齢を過ぎてから、急に守らせるのは難しい。幼少期からの習慣付けが肝心だ。

保護者の心配その2 「残虐なコンテンツ(作品)に触れさせたくない」

（内田）媒体を問わず、まずい作品は存在する。使わせないことも時には必要かもしれない。しかし無闇に情報をシャットダウンすることは、子にとって最大のリスク。自分に必要な情報を取捨選択して活用するリテラシーは、使うこと、触れることでしか育たない。

（山本）人気のアニメでも残虐なシーンが多いものはある。ただ「はやっているから」でなく、わが子にとってはどうか。親子で対話しながら考えてほしい。敏感な子なら、残虐な作品に触れたいとは思わないはず。逆に平気な子には、「これは殺し合いの話だけど…」と、一歩踏み込んだ対話のチャンス。すでに子どもの前に、オンラインの世界は広がっている。まず親が、その世界を知ることから始めてみては。遠ざけようとするのではなく、一緒に楽しんでみる。発想を転換して子どもの目線に近寄る努力が求められているのではないかな。

静岡県教育委員会
「ネット依存大丈夫ですか？ 家庭でネット依存対策をはじめましょう」
というネット依存対策の普及・啓発を目的に、リーフレットを作成。
気になる方は HP をご覧ください。

静岡県 ネット依存大丈夫ですか？ 検索

<https://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/netizan/ri-huretto.html>



加速するICTとどう付き合う？ どう使いこなす？

ICTとは

Information and Communication Technology (情報通信技術) です。人と人、人とインターネットがつながる技術のことです。「ICT教育」とは、パソコンやタブレット端末、インターネットなどのICTを活用した教育手法を指します。

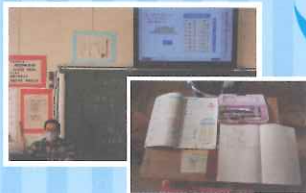
ICT教育 コロナ禍で加速

新型コロナウイルスの感染防止策として実施された一斉休校を機に、全国でICT教育が加速しています。大学や私学など一部の教育機関ではオンライン授業が定着しました。西豊田小学校でも、自宅学習にICT教材を取り入れた家庭もあったのではないのでしょうか。

子どもたちにとってますます身近になる「ICT」とどう付き合い、使いこなしていくのかを考えます。

西豊田小で行われているICT教育 ～広報委員がのぞいてみました！～ (2020年11月)

2年生の算数



授業をみた感想

教科書と同じ画面を黒板上のモニターに映して、クラス全員で「九九」を元氣よく復唱していました。先生が特大の教科書を持っているイメージで後ろの席の子どもにも見やすいです。

4年生の算数



授業をみた感想

子どもたちが書いたノートを、黒板上のモニターに映して分数の計算の考え方を発表していました。黒板に書かなくてもいいので発表がスムーズでした。

授業をみた感想

理科室で先生が手元のパソコン画面をモニターに映し、子どもたちはモニターの近くに集まっていた。教科書で説明するより、大きい画面の方が迫力もあり、分かりやすいと思いました。

6年生の理科



静岡市の取り組み

文部科学省が進める「ギガスクール構想」の一環で、静岡市は2021年3月末までに、小学4年生～中学3年生の人数分のノートパソコン「クロームブック」を全小中学校に配備する予定です。小学1年生以上の全児童生徒に個人アカウント(識別ID)を付与し、クロームブックや校内にあるパソコンから、個人専用のクラウドにつながるようにします。児童生徒の学習データをクラウドに蓄積することで、個々の学力に応じた学びも可能になるということです。

近い将来 こんな授業も… (文部科学省ホームページ「学びのイノベーション事業」より)



個に応じる学習



調査活動



協働での意見整理

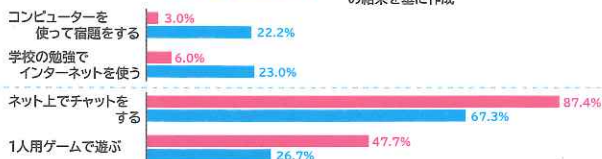


学校の壁を越えた学習

日本と先進諸国のICT利用状況

「日本の子供＝ICTは遊びに使うもの」
先進国のICT教育から置き去りに！?

【毎日・ほぼ毎日の割合】 ■ 日本 ■ OECD平均 ※2018年OECD PISA(生徒の学習到達度調査)の結果を基に作成



「日本の子供たちはICTを圧倒的に学びに使わない。チャットやゲームで使うものという認識で凝り固まっている。日本のICT環境が世界から取り残されてきた。この状況をなんとかしなければ」

※文部科学省GIGAスクールチャンネル
2020年5月11日配信 YouTube から

